

システムのインストール手順

(1) 動作環境の確認

システムのインストールを行う前に下表のハードウェア及びソフトウェア環境をご確認ください。

表：本システムを動作させるためのハードウェア及びソフトウェア環境

対象機種	DOS/V 機
CPU	PentiumRⅢプロセッサ 500MHz (PentiumRⅣプロセッサ 1.2GHz 以上を推奨)
メモリ	256MB-RAM (1GB 以上を推奨)
モニタ	VGA モニタ (1024×768Pixel 以上の解像度、SVGA 推奨)
ハードディスク空き容量	2GB (4GB以上を推奨) (※1)
OS	WindowsR 2000/XP (※2)
プリンタ	プリンタドライバに依存 (※3)
プロッタ	プリンタドライバに依存 (※3)
デジタイザ	WinTab [®] ドライバに依存 (※4)

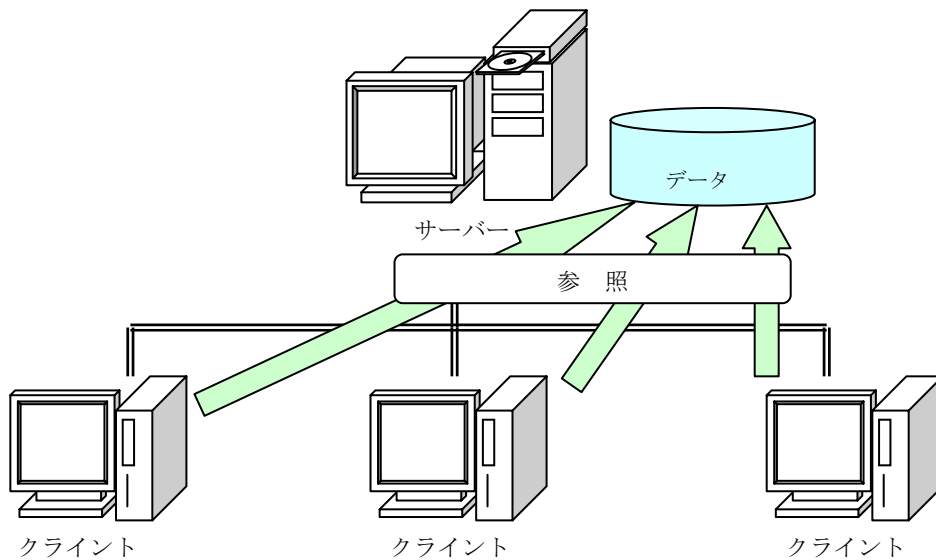
- ※1) 本システムに必要なディスク容量の目安として、30断面程度を有するサイトの場合で20 (MB) 程度
- ※2) 最新のサービスパックが当てられている事
- ※3) 接続を行うプリンタ用の最新のプリンタドライバがインストールされており、一般的なアプリケーションから印刷ができる状態になっている事
- ※4) 接続を行うデジタイザ用の最新の WinTab ドライバがインストールされており、WinTab ドライバからの制御が行える状態になっている事

Pentiumは、Intel Corporationの登録商標か商標です。

Microsoft, Windows, WindowsNTは、米国、カナダ、その他の国において Microsoft Corporationの登録商標か商標です。全ての製品、会社名はそれぞれ該当する会社の商標か登録商標です。

ネットワークを使用したサーバー・クライアントの設定方法

本システムは、サーバー・クライアントシステムとして利用することが可能です。「サーバー」とはデータが実際にインストールされるマシンで、データの表示・保存が行えます。一方、「クライアント」マシンはデータがインストールされず、「サーバー」のデータを参照します。「クライアント」はデータの表示のみが行えます。



※「サーバー」と「クライアント」でシステムのインストール手順が異なりますので、ご注意ください。

<サーバーのシステムインストール手順>

地質シミュレータのインストール

※インストールにはユーザー名「Administrator」もしくは同等の権限を持つユーザーで行います。

- ①CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。
- ②CD-ROMドライブ内の「server」フォルダにある「setup.exe」を実行して下さい。
- ③セットアップウィンドウの説明に従ってインストールを進めていきます。途中、インストールを中止した場合は「キャンセル」ボタンを押すとセットアップが中止されます。

NOTE) 「インストール先の選択」に移行する時にメッセージが出力されますが、システムをインストールするフォルダには空白のはいったフォルダを指定しないようにして下さい。

④システムのセットアップが正常に終了すると、マシン再起動の確認画面が起動します。ここでマシンの再起動を行う事を推奨します。

⑤システムインストール先のフォルダ（手順③のインストール先）の下にある「data_install.exe」を実行します。

<サーバーのシステムアップグレード手順>

地質データの設定は変更せず、プログラムだけを更新する場合は以下の手順で行います。

- ①CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。
- ②CD-ROMドライブ内の「exec」フォルダにある「geowin.exe」、「geowin_TRACE.exe」および「common_lib.dll」を地質シミュレータのインストール先フォルダにコピーしてください。

<クライアントのシステムインストール手順>

データビューアのインストール

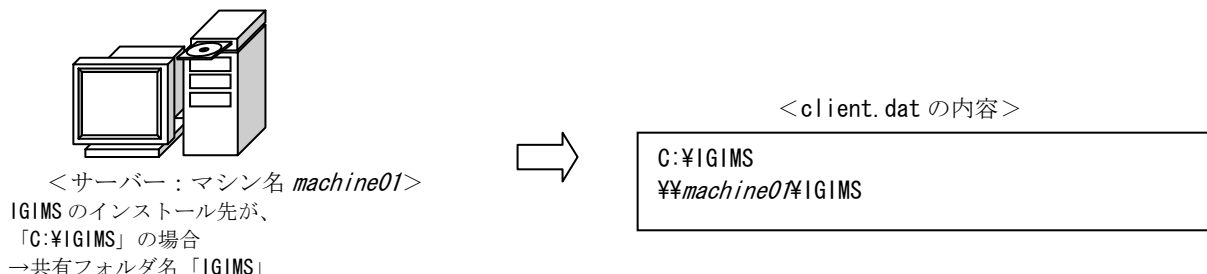
※インストールにはユーザー名「Administrator」もしくは同等の権限を持つユーザーで行います。

- ①CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。
- ②CD-ROMドライブ内の「client」フォルダにある「setup.exe」を実行して下さい。
- ③セットアップの指示に従いインストールを行います（サーバーのシステムインストールと同様の手順）。
- ④システムインストール先のフォルダの下にある「vsflex」フォルダ内の「Regist.bat」を実行します。帳票ツールがセットアップされます。
- ⑤クライアントファイルの設定を行います。手順②のセットアップにおけるインストール先（初期値は「C:¥IGIMS」）に「client.dat」というファイルを作成します。

・「client.dat」ファイルの書式

- 1行目：サーバーにおけるIGIMSのインストール先
- 2行目：クライアントにおけるサーバーのインストール先ネットワークフォルダ名

例) 以下の環境でクライアントを設定する場合は



※上記例で「サーバー」の共有フォルダ「IGIMS」をネットワークドライブに割り当てた場合の書式は以下のようになります。（クライアント側でネットワークドライブをD：ドライブに割り当てた場合）

```
C:¥IGIMS
D:¥
```

※初期値は以下のように設定されています。

```
C:¥IGIMS
F:¥ IGIMS
```

この内容は、サーバーで「C:¥IGIMS」にシステムおよびデータが全てインストールされており、クライアントはサーバーの「F:¥」ドライブに対してネットワークドライブ「F:¥」を割り当てているときに利用可能です。

なお、サーバー側では「F:¥」ドライブを共有フォルダにしておく必要があり、クライアント側ではこの共有フォルダに対して最低限、読み取り専用の権限が必要です。

<クライアントのシステムアップグレード手順>

プログラムだけを更新する場合は以下の手順で行います。

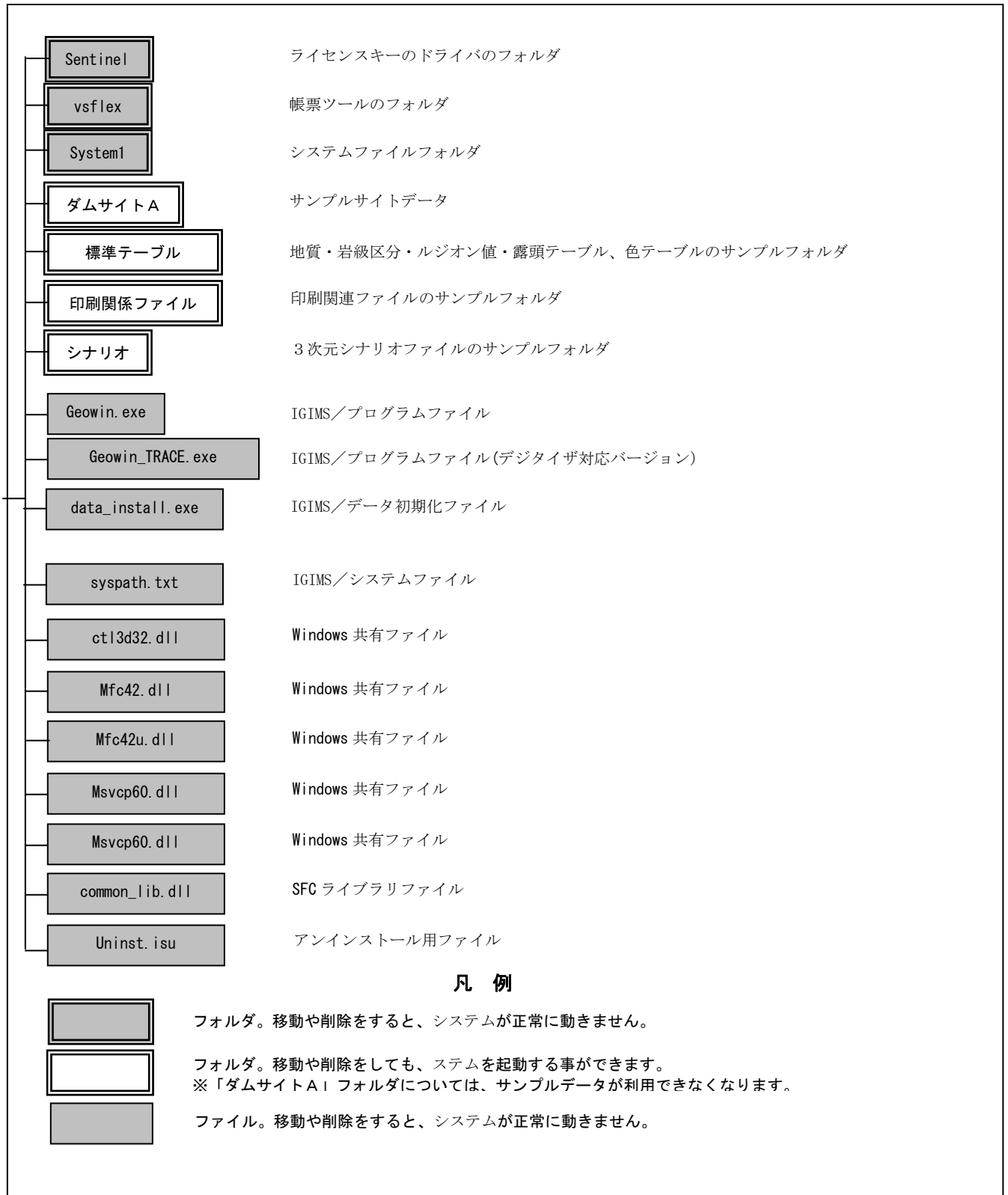
- ①CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。
- ②CD-ROMドライブ内の「exec」フォルダにある「geovwr.exe」および「common_lib.dll」を地質シミュレータのインストール先フォルダにコピーしてください。

(2) インストールされる内容

システムのインストールにより、どのようなファイルがインストールされるかを説明します。

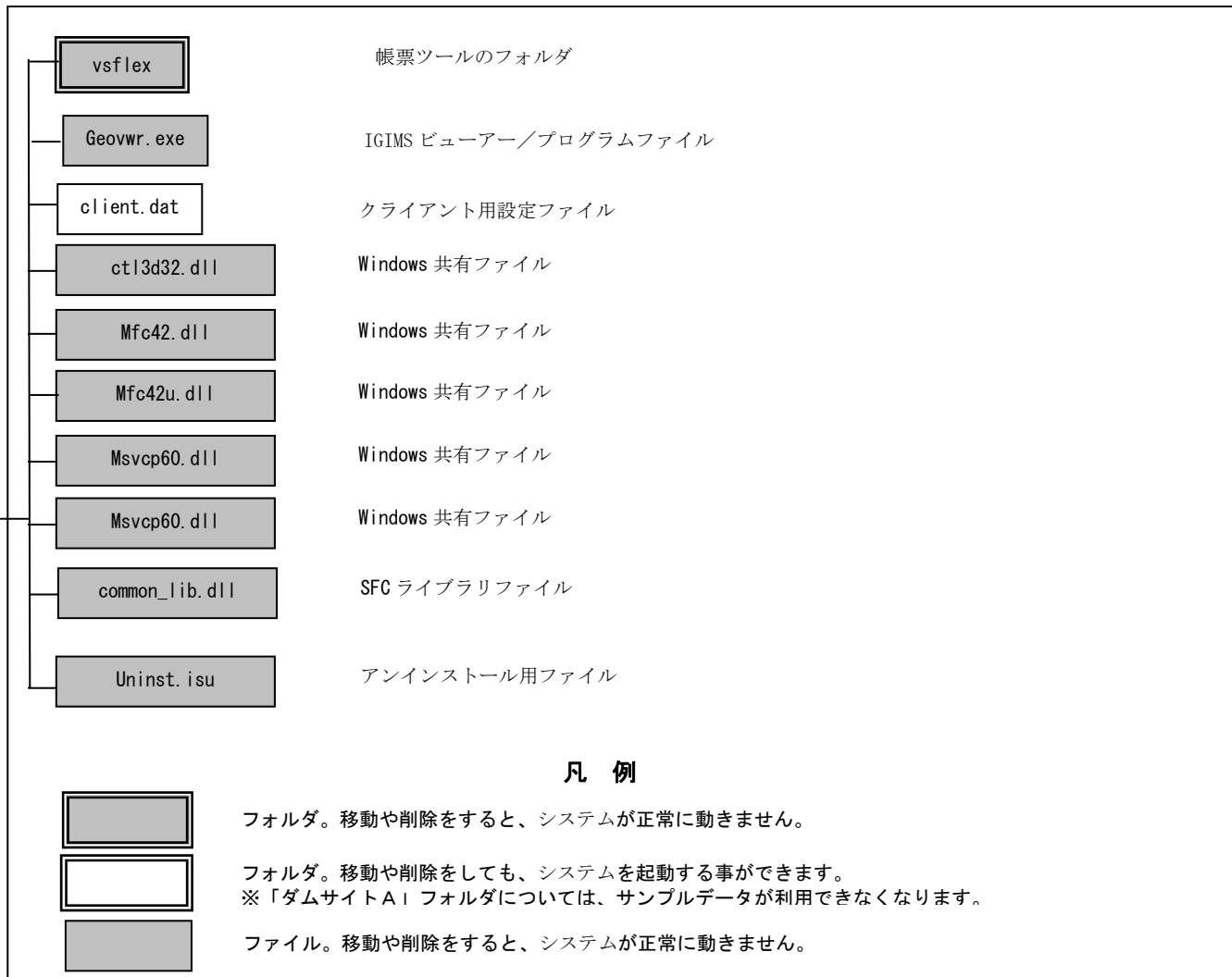
インストールされる内容はサーバーとクライアントで異なります。

サーバーのインストール直後のフォルダ構成を以下に示します。



図：サーバーのフォルダ構成

クライアントのインストール直後のフォルダ構成を以下に示します。



図：クライアントのフォルダ構成

(3) システムアンインストール手順

システムのアンインストール手順について説明します。

システムのアンインストール

① 「マイコンピュータ」の「コントロールパネル」を選択し、「アプリケーションの追加と削除」を起動します。

例) ショートカットから実行する手順



② 「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウで「IGIMS」を選択し、「追加と削除」ボタンを押します。

NOTE)

・アンインストールを行うとサンプルデータも全て削除されます。サンプルデータを保存したい場合は、別なフォルダにコピーする等の処置をしてからアンインストールを行って下さい。